



2004(平成16)年10月5日

各 位

会 社 名 生化学工業株式会社
代表者名 取締役社長 榎 史朗
(コード番号 4548 東証第2部)
問合せ先 取締役経営管理部長 矢倉 俊紀
(TEL. 03-3270-0966)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年8月3日に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1)平成17年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,100	3,200	1,900
今 回 修 正 予 想 (B)	11,100	3,600	2,200
増 減 額 (B - A)	-	400	300
増 減 率 (%)	0.0	12.5	15.8
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期中間)	10,544	2,507	1,197

(2)平成17年3月期連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	21,200	4,900	2,800
今 回 修 正 予 想 (B)	22,200	6,100	3,700
増 減 額 (B - A)	1,000	1,200	900
増 減 率 (%)	4.7	24.5	32.1
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	20,744	4,065	2,117

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 93円56銭

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）
（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,800	3,100	1,800
今回修正予想(B)	9,800	3,500	2,100
増減額(B-A)	-	400	300
増減率(%)	0.0	12.9	16.7
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期中間)	9,421	2,560	1,334

(2) 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）
（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,900	5,000	3,000
今回修正予想(B)	19,800	6,100	3,700
増減額(B-A)	900	1,100	700
増減率(%)	4.8	22.0	23.3
(ご参考) 前期実績(平成 16 年 3 月期)	18,530	4,215	2,381

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 93 円 56 銭

3. 修正の理由

1) 中間期

売上高につきましては、前回予想（平成 16 年 8 月 3 日公表）に変更はありません。利益面につきましては、研究開発費を中心とした販売費・一般管理費の減少や支出の遅れなどの要因により、中間期の経常利益、中間純利益ともに前回予想を上回る見込みです。

2) 通期

国内の関節機能改善剤アルツ・アルツディスポの売上が、販売委託先の科研製薬(株)との連携による販売活動の促進により、堅調に推移する見込みです。同剤の米国向けスパルツにつきましては、現地販売の順調な伸長に伴い、販売委託先であるスミス アンド ネフュー社での流通在庫の積み増しが見込まれることから、計画を上回る出荷を予想します。また、ロイヤルティー収入等の増加や、連結子会社におけるエンドトキシン測定受託試験サービスの伸長などの要因もあり、通期の売上高は、前回予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、売上高の伸長に加え、売上増加が見込まれる製品の利益率が高いことや、販売費・一般管理費の減少により、通期の経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見込みです。

* 業績予想に関する留意点

当資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの将来に関する記述に全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートの変動などが含まれます。

以上